

519回IBC番組審議会

1. 開催日時 平成19年4月25日(金)午前11時
2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
- | | |
|---------|---|
| 委員数 | 11名 |
| 出席委員数 | 8名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 吉沢 正則 |
| 副委員長 | 田代 高章 |
| 委員 | 伊藤 史典 河村 泰信
熊谷志衣子 澤口たまみ
宮澤 徳雄 矢佐 俊幸 |
| 欠席委員の氏名 | 小松 務 高橋 健悦
米谷 春夫 |
- 会社側出席者
- | | |
|-------|------------|
| 阿部 正樹 | 代表取締役社長 |
| 川島 敬司 | 常務取締役 |
| 菅野 秀樹 | 取締役テレビ営業局長 |
| 柴田 継家 | 報道局長 |
| 川上 隆 | ラジオセンター長 |
| 鎌田 英樹 | テレビ編成局長 |
| 眞下 卓也 | ニュースエコー編集長 |
- 事務局
- | | |
|-------|-----------|
| 馬場由紀子 | 番組審議会事務局長 |
| 小笠原 勉 | 番組審議会事務局 |

4. 議題 『IBCニュースエコー』

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- ・岩手をほっとけない！で取り上げていた、自治体の財政問題や空洞化する商店街の問題などはそれぞれ非常に重いテーマ。ニュース枠の中では時間的な制約があると思うので、IBC特集などでさらに深く掘り下げて伝えて欲しい。
- ・金曜日の企画、がんスポ！は面白くて元気が出る。いろいろなスポーツに頑張っている人たちをたくさん紹介して欲しい。
- ・地域に密着したニュースを流すのが、地元テレビ局の使命だと思う。その意味でコミュニティチャンネル的な役割を果たしていると評価できる。
- ・地域に密着したニュース、例えば、桜が咲いたというニュースは、どこが咲いたというだけでは通り一遍になってしまう。そこの周辺にはどんな見聞があるのか、ピンクが濃い特色があるなど、独自のコメントがいたら、地元のニュースらしくなると感じた。

<社側>

- ・盛岡だけではなく県南、県北、沿岸など地域的なバランスを取ってニュースを出していくことを心がけています。見たいニュースと見せたいニュース、伝えたいニュースと伝えて欲しいニュースのバランスも考えています。
- ・時間帯から主婦の方々が中心になるという考え方はしています。興味を持ってしっかり見て頂くために一つ一つのニュースも、全体としてもわかりやすい親切的なニュースを心がけています。
- ・「岩手をほっとけない」については、最初をあえて重いテーマ、そう簡単に解決される問題ではないテーマを取り上げました。一度取り上げたテーマも重ねて取材しながら、最終的に番組化につなげられれば良いと思っています。